



号外
洛星新聞局
発行所 洛星中・高等学校
〒603 京都市北区
小松原南町33
☎075(463)3281(代)

新会長に田中君・山賀君

三役信任 前期生徒会発足

九月の文化祭へ始動

高校生徒会の会長など三役の信任投票が四月二十六日に行われ、新人で高二の田中君ら三人が過半数の信任を得て三役に就任した。また中学の三役の信任投票も五月二日に行われ、新人で中三の山賀君ら三人がそれぞれ信任された。これにより、九四年前期の生徒会が発足し、文化祭へ向けて動き出すことになる。

前期生徒会は、例年、九月に行われる文化祭の準備が主な仕事となる。

高校生徒会の田中会長は

三役の顔ぶれ

〈高校〉		
会長	田中寿幸	(ⅡD)
副会長	下村 実	(ⅡE)
書記長	上野智史	(ⅡF)
〈中学〉		
会長	山賀雄一	(3B)
副会長	信原理生	(3A)
監査局長	後藤慎平	(3C)

任期は11月中旬まで

理想の文化祭像を確認 旧生徒会と文企

九三年度後期生徒会のもので文化祭を原点から見直していた文企は、先日(文)企総会で、「プロセス(過程)面重視」結果として感動できる文化祭に「などの理想の文化祭像を確認した。宮本茂輝前高校生徒会長(ⅢD)は任期を振り返って、「自分たちの理想をし

就任後の新聞局員のインタビューに対し「去年洛星の文化祭を見に来た人に洛星の文化祭はおもしろくないといわれた。内部の生徒も外部の人も、みんなが楽しめるものを作っていきたい」とやる気を語っている。前年度後期の生徒会の文化祭改革路線は、そのまま引き継ぐ方針だ。ただ、これまでの議論は生徒会(Ⅱ)三役と、有志団体である文企(文化祭企画委員会)の内部分で行われてきたため、今後は全校生徒の意見を取り入れることが不可欠になると見られる。これに関し「単にアンケートをするのではなく、何かをやりたいと思っている」というも

日本でも最も歴史がある大学で、最古学府としてその名をはせる、といえは存じ東京大学。このたび新聞局では、東京大学への訪問取材を敢行しました。さて、天下の東大の実態やいかに……

東大には、駒場と本郷の二か所のキャンパスがあり、今回我々が訪れたのは文京区内の本郷キャンパスです。案内役は、洛星OBで現役の東大三回生であるOさん。Oさんは、駒場にある教養学部での勉強を終えこの春から経済学部生として本郷キャンパスに通われることになりました。副都心新宿から地下鉄丸の内線で約二十五分、本郷三丁目駅へ。歩くこと数分、有名な東大の赤門が見えてきました。ご存じない方のために解説しますと、赤門といのは加賀藩邸から移築された門で、名前のとおり赤い門です。ただ、意外にも正門ではないそうです。赤門をくぐり、いよいよ東

天下の東大 実態いかに

本郷キャンパス

訪問



正門付近から
大講堂を望む

ました。Oさんによれば、蔵書数は国会図書館並みとか。入口のゲートは学生証や紹介がないと通れませんが、廊下には赤じゅうたんが敷かれています。専門書の並ぶ四階建ての図書館の中では、春休み中とは言え熱心に勉強する学生や先生の姿が。図書館を出た我々の目の前を太った三毛ネコが横切っていました。通称「本郷ネコ」といふ学食の残飯などを目当てに住みついているそう。次に向かったのは、かの学生運動のシンボルとも言える安田講堂です。学内では「大講堂」と呼ばれます。行事などで年に数回使われるのみで普段は入れません。その地下

の、まだ具体案は固まっていないうだ。田中君らは文企の経験はなく、これまでの文企の文化祭改革議論にも加わっていない。このため、今後文企のメンバーとの協調関係をどう築くかも課題になりそう。一方、当初立候補者のいなかった中学では、立候補した。業者の引き取り額は一万四千五百円。全額が、京都新聞社社会福祉事業団に寄付された。新生徒会もテレカやベルマークの回収を継続する方針である。田中・高校生徒会長は「ベルマークは何と交換したのか明らかにしたいと考えている」という。

テレカのお金
1万4000円寄付

前年度後期生徒会が一月から全校に呼びかけて集めていた使用済テレカ類が一

シリーズ

神戸市内を一望する六甲の高台にある親和女子高校で、五月三日、五月晴れのもとで文化祭が行なわれた

以前他校訪問で紹介したのでご記憶の読者もいることだろう。学校とは思えないほどきれいな校舎だったがスリッパを持っていない人には三百円で売り出すという徹底ぶりで、さすがにこれには面食らった。

さて、一步中に立ち入ると、さすがに女子校、華やかである。イベント、模擬店、展示のほかに、体育館ではバスケ部の親善試合も行われていた。イベントでは、一般客が出場する「NICE GUY コンテスト」や「親和ラブラブ大作戦」などが行われ、大盛況を見せていた。やはりこれを見学していた。やはりこれが女子校の現実なのか。模擬店ではクレープやりんごあめが売られていた。さらに、かごを持って移動販売

もしていた。この移動販売
かわいいた女の子が「買って
え♡」と迫ってきて、断
り切れずに売りつけられて
いる男が多かったのは気の
せいか。しかし、彼らには
それなりのよろこびがあっ
たのだろう。

展示は、さまざまな文化系クラブが中心に行われていて、カラオケなどもあった。ここでもかわいい女の子たちが、「入ってえ♡」と迫ってくる。そして入っていく男どもが多かったのは、これまた気のせいかもしれない。まじめな展示も多く、大筆書きの体験ができる書道部、作品展の写真部、ギターを一般開放しているギター部、実験を実演する理化部、などなど。

日が高くなり、おなかもすいたので、食堂に入って食べるが、やはり女子校、値段の割りに少ない。これも質より量の男子校のさがないのか。

かくして一日女子校の雰

囲気を満喫し、すっかり楽しんでから、親和女子高校を後にする筆者であった。

新聞局に悲願のワープロ導入！今回はそれを記念してのワープロ版です。号外というところで軟らかソフトめにしてみました。正統派流星新聞も間もなく発行です。しばしお待ちを。（奈某クラスのエアコンはともうるさいそうだ、こっこれは・・・?!?!）

（?!?!?!?!）

俺は何もやってないぞ！
やったのは周りの奴だぞ！
局員はたまには局室に……
ワレ奇襲二成功セリ……!!
書きたいことを書いてなぜ

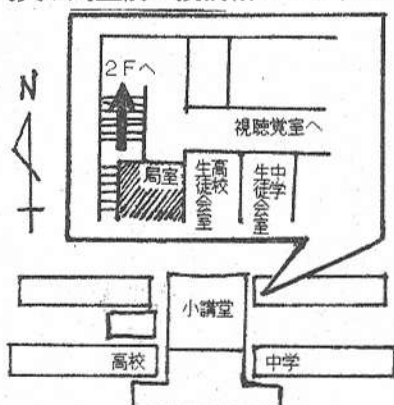
次号の洛星新聞

- ・新任の先生方紹介
- ・他校訪問記

ほか

悪い？（中身はせこい）
新聞局をなめてる貴様ら
！！！！今、怒っている君！
新聞局に入る資格がある
ヨ！（N先生の授業は早い
今年、ついに受験生。来
年の今頃、日本三才塾のう
ち慶應義塾生ならびいのは
津田塾（女子大）生なのは
いやだ。さらに、河合塾生
なんてのはもつといやだ。
（さすらいの旅人）
新聞局は今、世代交代の
時。局員も増えて、日々邁
進していきます。
（通りすがりの局長）

あんたが大賞
原稿募集
高校総体も近づいてきました。新聞局では次号の洛星新聞「あんたが大賞」欄に掲載する原稿を募集しています。クラブ等の試合結果や活動報告などを知らせて下さい。お近くの局員か局室前の投稿箱までどうぞ。



暗いと言わないで
とかく実態不明と見られ
がちな新聞局ですが新年度
でもありますので改めて紹
介させて頂きましょう。

新聞局は生徒会会則に定
めるところのクラブではあ
りません。が、局員になる
に当たつてはクラブ登録の
扱いがされます。目下のと
ころ局員数は八人ほどです。
仕事は言うまでもなく洛

星新聞の編集が主なもので
すが、地味な仕事も多いので
すが、自分の記事が活字に
なる喜びを知るとハマって
しまふものです。

「暗い」と思われがちで
すが、取材や他校との交流
の機会の多いことを考えれば、
いろいろな情報に最も一
層明るいクラブといえるで
しょう。

第146号

5日 月曜日

13版 8

生徒が新校舎の設計に意見を

適る場合なくてはならない。
でも使つては生徒だもんね。洛
星中・高校、京都市の洛星新
聞から

十條以下二年生近い期間
をかけた校舎の新築案が完成し
た。

昨年春に始まつた工事では、
途中、地下で断層が明露された
り騒ぎに悩まされた。私たち
生徒の方からも、面びではないか
た。ただ念頭に大変な、ならう
と思ふのは、現地の勢の激變
の人々である。簡略、機業
の中、ほかにまれながら重
労働多量には、地下的が思
いたった。社会の一隅に閉居
る終焉とならぬ。

新設計には、教研究室や先
生の立寄りの下しに使えな
い会議など、いわば先生の
ための部屋が多い。それも教
育実務のため必要に迫られた
が、一方で新設計はたぐう類
は四つ、一部で作業クラス室
が不足、高付化している点を
完全に反映してはいない。

時を待て

大體の壁に押寄せられ窓
々のレリーフは一八九六分の
建築当時の佐賀藩制作用もの
の模写。今例、新校舎の一角
にも半世紀のアナタをかし
わたり来た一、二階層もあ
とはいへ、と思ふ。

とはいへ、せつかの新しい
設備を口ずかの清濁や行事に使
いがたい学校生活を送るすべ
が私たちが生徒の役割だ。

間違ひない、友達が選んで置
つた、施設を忘れたければ、せ
つかの設備がある。それだ。

偶然ながら木を使える
未知数をもたなければ（補
に）だ。

次無
日本住
河原野
折敷
知子
リニー
て手
立廻
座敷
14

『洛星新聞』
146号

『朝日新聞』
4月25日付

洛星新聞、
朝日に掲載

4月25日付朝日新聞朝刊の「きょうしつのハナシ」欄に、『洛星新聞』146号の論説「新校舎を使おう」が、ほぼ原文のまま掲載された。同欄は、各地の学校新聞の記事の中から一部を紹介するコーナーで、毎週一回掲載されている。